

エアロゾルの気候影響に関する数値シミュレーション

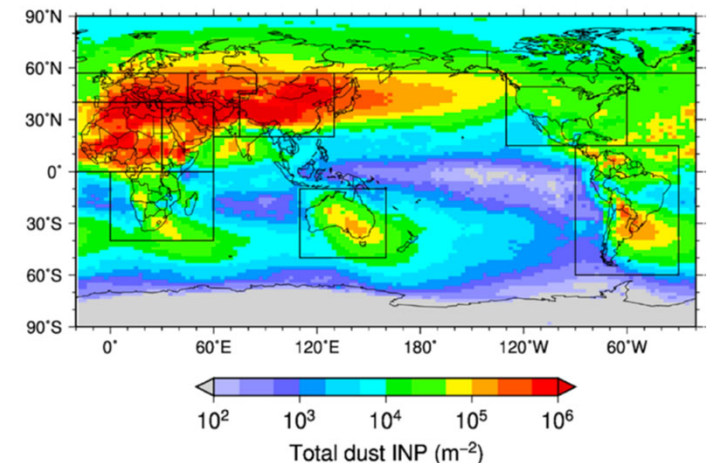
名古屋大学 大学院環境学研究科 松井 仁志

目的 エアロゾルの時空間分布と気候影響を予測する。

内容 大気中の微粒子（エアロゾル）のグローバルな時空間分布やその放射・雲過程への影響を予測した。

結果 氷晶核（固体の雲粒を形成する微粒子）のグローバルな分布を推定するとともに、その発生源寄与と雲影響を評価した。また、北極域におけるエアロゾルとその放射・雲影響の過去約40年間の変化を推定・評価した。

利用した計算機 SQUID 汎用CPUノード群
ノード時間 82127 時間
並列化 8ノード 並列



氷晶核の全球分布 (Kawai and Matsui, 2025)